

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月30日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機 非常用ディーゼル発電機(B)燃料油ドレンポンプ用Y型ストレーナの点検誤りについて】 6号機 非常用ディーゼル発電機(B)燃料油ドレンポンプ用Y型ストレーナについて本年4月に本格点検すべきところ、簡易点検を実施していたことを当社社員が確認。 2020年8月に非常用ディーゼル発電機(B)本体が非待機状態となる時にあわせ、ストレーナの本格点検を実施予定。 当該ストレーナを含む系統にて2020年6月に燃料油ドレンポンプの試運転を実施し、運転状態に異常がなかったことより、非常用ディーゼル発電機(B)の機能、性能には影響なしと判断。 点検誤りは長期点検計画の記載誤りによるものであるが、原因について現在調査中。 今後、原因が判明次第、対策を検討予定。</p>	G II	7月27日
2	<p>【当社ホームページに公表している「原子炉格納容器内の水素濃度」の「リアルタイムデータ」の表示不具合について】 当社ホームページに公表している2、3号機原子炉格納容器内の水素濃度「リアルタイムデータ」の「計測グラフ」と計測値が「0」表示となっており、正しい値が示されていないことを確認。 今回の計測値表示の不具合は、2019年4月に2、3号機水素濃度計の改造を行った際に、一部のシステムの変更が未実施であったことが原因と推定(表示に不具合のあった期間;2019年4月～現在[推定])。 表示の不具合が解消するまでの間、計測値については「プラントデータ」から確認していただくようホームページに注記済み。 今後、原因追求および再発防止対策を検討予定。</p>	G II	7月28日
3	<p>【1号機 原子炉格納容器ガス管理設備の伝送装置の動作不良について】 当直員が1号機 原子炉格納容器ガス管理設備の警報の鳴動およびバトライト動作を確認。 当社社員にて現場を確認したところ、パソコンの伝送受信ランプが消灯していることより、伝送装置の不具合と推定。 警報は2系統あり、警報監視に影響なし。 今後、点検を実施予定。</p>	G III	7月24日
4	<p>【J1タンクエリアA8タンクの水位計指示不良について】 J1タンクエリアA8タンクの水位計指示が計測範囲以下まで急降下し警報が発生。 当社社員にて水位計を初期化したところ、水位計指示は復帰したが、2日後、再び警報が頻発した。タンク連結弁を「全開」にしても、A8タンク以外の水位指示変動がないこと、また、計器内部の電気回路の故障が確認されたため、計器故障と判断。 タンク水位は連結するタンクの水位監視により可能。 今後、計器交換予定。</p>	G III	7月27日